

としょかんだより

つばめ ライブラリー  
TSUBAME × LIBRARY

# TSUBAMERY

つばめりー

2025-2026冬

WEB限定  
増刊号

おとなむけ

燕で活躍する先輩に インタビューするコーナー **つながる** に載せきれなかった、  
大人にも読んでいただきたい貴重なおはなしのつづきを、WEB限定で公開中！

まちトープ オーナー  
デザイナー

しまだ まさのり

嶋田雅紀さん

## 子どものころの裏話

私は落ち着きがなく、授業中も落書きをしたりしている子どもでした。本に描いてある絵を、ひたすら模写していましたね。

カードゲームも大好きで、戦略を立てて戦うことから、ビジネスのイロハを学んだ気がします。

そんな子どものころの経験も「今」につながっています。

## 自身の経験から思うこと

学校生活においては、勉強、運動の出来が個人の評価につながる事が多く感じます。それらが苦手な子どもたちは、自分のことをダメだと思いがちです。実際、私もそうでした。ノートに描いた絵を褒められることがあっても、「らくがきを褒められても…」と思ったり。そういった面からも、クリエイティブな子どもは挫折のポイントが多いです。

私は自分の作品や、仕事をしている姿を通じて、かつての自分と同じような思いを抱える子どもに、「大丈夫だよ。」と伝え続けたいです。私自身が劣等生だったからこそ、教えられることがあると思っています。

## 大人って楽しい！

中学生のころは、大人になってもつまらないと思っていました。中学生くらいって、出会う大人といえば、主に学校の先生、親くらいですよ。今思い返すと、そうやって生きていく上で大切な基盤を教えてくれる先生や親の存在はとても大事だとわかるのですが、当時からすると、なんだかつまらなくて、窮屈に見えたんです。

大人になって、それがもったいないと思いました。だって、大人になるって、とても楽しいことだから。子どもと接する機会が増えたことで、より一層、「大人って楽しい！」っていう姿を見せたいと考えるようになりました。楽しく働く大人の背中を見せることで、子供たちの将来に対するあゆみ、選択肢を増やすことができたならうれしく思います。

仕事に対する愛、地元・燕市に対する愛、そしてこれから大人になる子どもたちへの愛にあふれたお話を聞かせていただきました。子どもたちが、未来に向かって夢を持って歩んでいける環境をつくれるよう、燕市立図書館も全力でがんばります！嶋田さん、ありがとうございました。

